

Ansys LS-DYNA® 非線形動的構造解析ソリューション プライマジー on Fujitsu Server PRIMERGY

AMD EPYC™ 9004シリーズ・プロセッサを採用したFujitsu Server PRIMERGYと、非線形動的構造解析ソフトウェアAnsys LS-DYNAにより、非線形動的構造解析の業務スピード向上・生産性向上を実現します。



PRIMERGY RX2450 M2

AMD EPYC™ の最新世代CPU搭載

- ✓ 高いメモリ帯域幅とキャッシュ容量
- ✓ 増加したCPU最大コア数
- ✓ 優れた電力効率



AMD EPYC™は高いメモリ帯域幅・高いキャッシュ容量を持つためハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)を用いた解析業務にお勧めのCPUです。特に最新世代のAMD EPYC™ 9004シリーズ・プロセッサは、解析の計算時間に大きく影響する**クロック周波数とメモリ帯域幅が大幅に向上**※しました。

※前世代のAMD EPYC™ 7003シリーズ・プロセッサと比較して、クロック周波数は平均で(HPC向けの16,24,32,48,64コアCPUのそれぞれの基本クロック周波数の平均値が)**30%**向上し、ソケットあたりのメモリ帯域幅は**125%**向上しました。

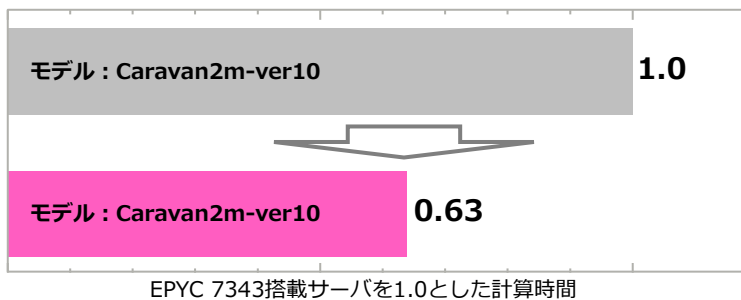
非線形動的構造解析の計算時間を短縮

最新世代のAMD EPYC™ 9004シリーズ・プロセッサで強化されたクロック周波数とメモリ帯域幅の効果を見るために、非線形動的構造解析ソフトウェアAnsys LS-DYNAの標準的なベンチマークモデルの計算時間を、前世代のAMD EPYC™ 7003シリーズ・プロセッサを搭載したPRIMERGY RX2450 M1と比較しました。以下のグラフは同じコア数のHPC向けCPUを用いて同じ並列数で比較した結果です。PRIMERGY RX2450 M2はクロック周波数とメモリ性能の向上により**計算時間を大幅に短縮**します。

PRIMERGY RX2450 M1
(AMD EPYC™ 7003シリーズ
・プロセッサ搭載)
16core,32並列

New

PRIMERGY RX2450 M2
(AMD EPYC™ 9004シリーズ
・プロセッサ搭載)
16core,32並列



機種	FUJITSU Server PRIMERGY RX2450 M2	参考) 比較対象CPU
CPU	AMD EPYC™ 9174F (16core, クロック周波数4.1GHz, メモリ帯域幅460.8GB/s/socket, L3キャッシュ容量256MB)	AMD EPYC™ 7343 (16core, クロック周波数3.2GHz, メモリ帯域幅204.8GB/s/socket, L3キャッシュ容量128MB)
メモリ	384GB (16GB 4800 RDIMM×24)	測定アプリケーション
OS	Red Hat Enterprise Linux	Ansys LS-DYNA R12.0.0 (EPYC 9174F)/R9.3.0 (EPYC 7343)

●Ansys®、及びその他すべてのANSYS, Inc.の製品名は、ANSYS, Inc.またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。●記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(®、TM)を付記していません。

商品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通公開サイト <https://www.fujitsu.com/jp/primergy/> 詳細はこちら <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/pcluster/>